

アルコール依存症の 基礎知識と社会資源について 報告

～疾患の基礎知識と現状の社会資源の具体的な情報～

この研修会は、アルコール依存症の基礎知識と対応のポイントについて学び、専門的に治療を行っている医療機関や、公的な相談窓口や断酒会などの社会資源の実際について理解することができる、また、個々が有する情報を共有し、可能な支援について考えることができることを目的として開催しました。講演後、グループに分かれ情報共有と意見交換を行いました。22 名の方がご参加くださいました。

開催日:2025年12月6日(土)

14時～16時

会場:医師会館大ホール

講師 ふじわら かずき
藤原 一樹 氏

姫路市保健所 健康課
精神保健福祉相談員



「アルコール依存症について」と題し、ご講演いただき、とてもわかりやすく解説をしていただきました。

【講演の主な内容】

- アルコール依存症とは
- アルコール依存症の治療
- 自助グループ
- かかわり方
- 保健所への相談について

「依存症」は誰でもなり得る病気です。誰でも何かに依存して生きています。適度に依存していればいい状態ですが、1つのものに頼りすぎてしまい、生活に支障が出ると「悪い依存」となります。依存症になる背景は、こころの傷や孤独感、生きがいの喪失、退職による生活習慣の変化などさまざまです。

「アルコール依存症」は、飲酒量・時間・タイミングなどをコントロールできなくなる病気であり、身体依存・精神依存が起こります。また、自分はアルコール依存症ではない、いつでもアルコールをやめることができるなど、本人が認めないことが多く「否認の病」とも言われます。回復のためには、専門の医療機関での治療、保健所窓口への相談、『断酒会』などの自助グループへの参加、そして、家族や周囲の人の協力や適切な関わりなどが重要です。

【体験談】兵庫県姫路断酒会

よしもと けんいち
当事者:吉本 堅一 氏
あさだ はつみ
ご家族:浅田 初美 氏

当事者として、ご家族としての体験談、当時から現在を振り返っての思いなどとても具体的にお話しくいただきました。

【お二人からのメッセージ】

兵庫県姫路断酒会にお気軽にお越しください。

参加者アンケートより（一部抜粋）

- ・断酒会や医療機関の情報が今後の支援に役立てることができる。
- ・（研修会に参加して、今後）アルコール依存症の背景を理解した上で利用者に関わる事ができると思います。
- ・本人への関わり方がわかった。
- ・治療の意志のあるご本人や、ご家族の相談には今までよりも一緒に考えやすくなりました。
- ・病院の受診や断酒会などの社会資源につなげることが大切だと痛感しました。
- ・当事者・当事者家族の想いが聞け、有意義でした。